

国際展開分野における本県産業の特徴（強み）

1. 機械産業を中心とする本県の輸出・進出状況
 - 本県の主要輸出産業は、機械、ITハード、繊維、食品
 - 主要輸出先は、米国、中国。近年、インドネシア、タイ等の新興国が増加傾向
 - 県内企業の海外拠点数は年々増加し、とりわけ東南アジアへの進出が近年増加傾向
2. 充実した国際物流インフラ
 - 金沢港の国際定期コンテナ航路数、外貿コンテナ取扱貨物量が拡大
 - 機械産業を中心に金沢港を活用した輸出が増加
 - 金沢港へのクルーズ船寄港数、乗客数が拡大
3. 伝統と文化に根差した豊富な地域資源
 - 地域特有の食材や伝統工芸、温泉や料亭などが豊富
 - 食品や酒、伝統工芸品など海外からも高い評価
 - 東アジアや欧米、東南アジアなど外国人観光客が増加傾向

本県産業を取り巻く内外の環境変化

1. 国内人口減少による国内市場の停滞
 - 国内人口は今後10年間で約600万人減少（H27:1億2,660万人⇒H37:1億2,066万人）
2. 中国、東南アジア等の新興国市場の拡大
 - アジアの中間層は飛躍的に増加（2011:89百万人⇒2020:293百万人⇒2030:747百万人）
3. 国内ものづくり産業の海外進出の加速
 - 海外進出した製造業の海外生産比率は上昇傾向（2001:24.6%⇒2012年:32.6%）
4. 世界的な貿易取引の拡大
 - 二国間、多国間の自由貿易協定の増加に伴い、世界全体での貿易取引量が拡大
 - アジア太平洋地域において広域的な経済連携に向けた取り組みが活発化
5. 和食の世界的認知
 - 海外の日本食レストランは近年急増（2006年：約24,000店⇒2013年：約55,000店）

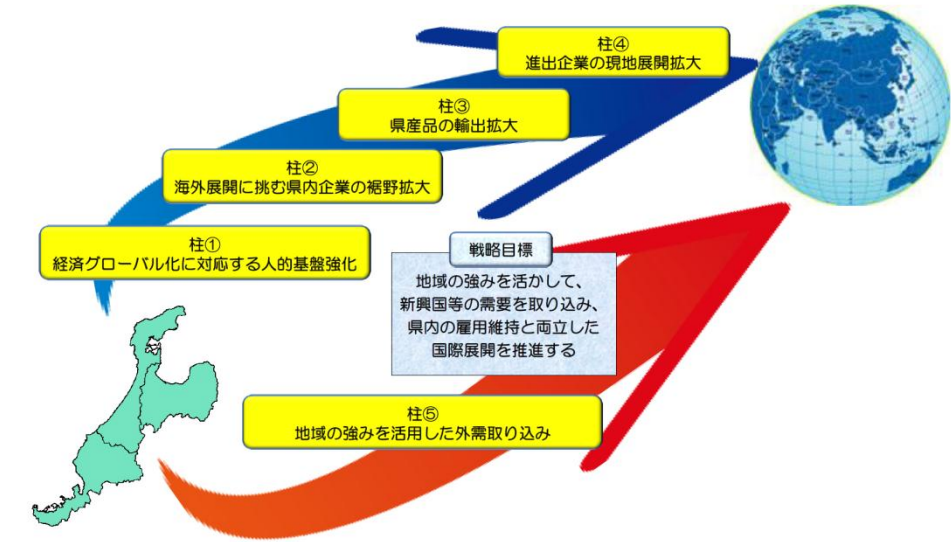
県内企業の声（アンケート結果）

1. 海外展開を検討中の県内企業の声
 - 動機:①海外市場の開拓 ②国内市場の需要減少
 - 課題:①現地情報や人材の不足 ②現地取引先や販売先の確保
 - 行政に求める支援内容:①商談会や見本市出展支援 ②海外展開に関する専門家派遣
2. 海外展開している県内企業の声
 - 動機:①海外市場の開拓 ②国内市場の需要減少 ③取引先との関係
 - 課題:①現地商習慣や現地法規制等への対応 ②品質管理 ③現地取引先や販売先の確保
 - 行政に求める支援内容:①現地情報の収集・提供 ②商談会や見本市出展支援
3. 海外展開の必要性を感じているが展開していない県内企業の声
 - 課題:①海外展開に関する知識・情報の欠如 ②資金・人材の不足
4. 県内企業の関心の高い今後の海外展開候補地域
 - 東南アジア(展開候補国は、タイ・インドネシア・ミャンマー・ベトナム・シンガポールなど広域に及ぶ)

石川県産業国際展開戦略（案）の柱と今後の主な取り組み

戦略目標

地域の強みを活かして、新興国等の需要を取り込み、県内の雇用維持と両立した国際展開を推進する



柱①経済グローバル化に対応する人的基盤強化

国際ビジネスに対応できる社内人材の不足に直面している県内企業に対し、ジェトロなど他の機関とも連携しながら、社内人材の育成や外部人材の確保等を支援し、経済のグローバル化に対応する人的基盤の強化を図る。

■ 今後の主な施策

- 若手社員を対象にした短期間の海外実地研修を支援
- 海外営業等に対応できる高度専門人材の確保を支援
- 展示会出展等と連動した実践的語学研修等の実施

柱②海外展開に挑む県内企業の裾野拡大

海外展開に取り組む意欲はあるが、現地情報や人材など社内リソースが不十分な県内企業に対する国内準備体制を強化し、外需獲得を目指す県内企業の裾野拡大を図る。

■ 今後の主な施策

- 国別の市場動向等に関するセミナー・情報提供
- 個別企業の課題解決のため、専門家を派遣
- 海外展開の可能性を事前に見極めるため、海外FS調査を支援
- ジェトロなど他の機関との連携

柱④進出企業の現地展開拡大

海外進出した県内企業が円滑に現地で事業展開することを支援し、外需獲得を推進する。

■ 今後の主な施策

- 県内企業の関心が高い東南アジアの現地支援体制を強化するため、シンガポールに県海外事務所を設置
- 海外県人会等本県ゆかりの現地ネットワークを強化
- 進出企業と現地企業との商談会開催等を通じて現地需要開拓を支援

柱③県産品の輸出拡大

海外販路開拓に意欲的に取り組む県内企業に対し、見本市や商談会出展等を支援し、県産品の輸出拡大を図る。

■ 今後の主な施策

- 海外展示会出展や英語HP等の営業ツール整備など海外販路開拓にチャレンジする県内企業へのオーダーメイド支援
- 輸出に関するノウハウや成功・失敗事例等を蓄積・共有
- 見本市出展や商談会開催等を通じて、東南アジアや中国等成長著しいアジア新興国への輸出を支援

柱⑤地域の強みを活用した外需取り込み

産業集積から生まれた優れた技術や製品、食文化等の豊富な地域資源や充実した交通インフラなど、地域の強みを最大限活用することにより、国際競争力を高め、外需取り込みを積極的に推進する。

■ 今後の主な施策

- ニッチトップ企業等の海外展開を支援
- 金沢港のクルーズ船誘致、受入体制整備等の推進
- トレンド発信拠点等で、石川食文化の魅力を総合プロモーション
- 海外富裕層等の本県へのインバウンド誘客を推進